

令和5年度 会派行政視察実施報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	上志の風
事 業 名	豊橋市 子育て支援に関する取り組みについて
事 業 区 分	行政視察

1 上田市での課題と研修・調査の目的

豊橋市では、「共働き子育てしやすい街ランキング2022」において、全国第3位にランクインしています。上田市においても、子育て支援の充実が喫緊の課題であり、今後の取り組みの参考になるようにしていきたい。

2 実施概要

実施日時	視察先	愛知県豊橋市
令和5年8月10日(木) 10:00~11:30	担当部局	こども未来部 子育て支援課
報 告 内 容	1 視察先の概要	愛知県豊橋市は、県東部に位置し、東は弓張山系を境に静岡県と接し、南は太平洋、西は三河湾に接している。 面積 261.91 km ² 、 人口 375,329 人 (令和4年)
	2 視察先の特徴	戦前は製糸のまちとして、また軍都として栄えた。現在は自動車貿易では輸出入ともに世界トップクラスの実績を持つ三河湾を中心に臨海工業地帯が所在。 農業は稲作から野菜・果実、畜産と広く盛んで、キャベツの産出額は国内3位。 産官学連携による起業を支援する。
	3 視察項目について	○子育て支援に関する取り組みについて 1、豊橋市子育て応援企業の認定・表彰について 【子育て応援企業とは】 市民や従業員に対する子育て支援の取り組みを積極的に進めている企業を「豊橋市子育て応援企業」として認定・表彰します。 令和4年度に、新たに77社(95事業所)が認定を受け、子育て応援企業は、累計で211社(394事業所)(令和5年2月1日時点)

【制度の目的】

企業による子育て支援への取り組みを促進し、その取り組み事例を広く紹介することにより子育てしやすいまちづくりを進めます。

【制度の概要】

市民や従業員に対する子育て支援の取り組みを積極的に進めている企業を「豊橋市子育て応援企業」として認定・公表することにより、企業の子育て支援施策を促進します。また、認定企業のうち、特に優れた活動をしている企業を表彰します。

【認定条件】

次の取り組み分野のうち2つ以上の分野に該当し、一定基準を満たす場合に認定します。

- (1) 子育て家庭にやさしい
- (2) 地域の子供にやさしい
- (3) 従業員のワークライフバランスにやさしい
(子育てしながら働きやすい環境づくり)

【対象企業】

市内に本店・支店などの事業所がある企業や個人商店、法人格を有する団体等

【認定のメリット】

- ・市のホームページや広報誌で取り組みを紹介します。
- ・自社の求人広告やチラシ、ホームページ、商品にて「豊橋市子育て応援企業認定マーク」が使用できます。
- ・平成28年度から豊橋市が発注する総合評価落札方式の公共工事の入札において、評価項目の一つになりました。
- ・協賛企業による従業員向けの優待制度が受けられます。

【実績】

認定企業数（令和5年2月1日時点） 211社、394事業所

2、認定こども園・保育園について

認定こども園 民間 22園

認定こども園 公立 1園

保育園 民間 37園

保育園 公立 4園

豊橋市は民間59園、公立5園で運営しているが、民間を進めていることはなく現状として現在の状況になっている。

3歳から5歳児クラスは保育料無料、所得制限なしとなっている。

各認定こども園、保育園では次のようなサービスが行われている。

- (1) 延長保育 42園

平日概ね午後7時まで保育している。公立保育園については、土曜日午後6時まで保育します。

- (2) 一時預かり 4園
一時的に保育できないときに利用できる。
(利用料 日額 2,000円)
- (3) 特別支援保育 34園
心身に発達遅れなどがあり、特別な支援が必要な児童を保育します。
- (4) 休日保育 2園
認定こども園、保育園に在籍している1歳以上の児童を日曜・祝日に保護者が仕事のため、家庭で保育できない時に利用できる。
(利用料 日額 2,000円)
- (5) 子育て支援活動 54園
在宅の児童を対象に園庭開放・在園児との交流事業を実施している。

3、豊橋子育て支援情報ポータルサイト「育なび (いくなび)」について
事業の運営は平成25年5月から始めた。

豊橋市の子育てに関する情報をまとめたポータルサイトです。
妊娠期からお子さんが18歳になるまでの子育てに役立つ情報を案内しています。

- 目的でしらべる 相談、妊娠・出産など目的から情報
- 年齢でしらべる 妊娠期、0歳、1～3歳など年齢から情報
- もしものときは 休日夜間の医療機関、災害時に関する情報
- パパママ掲示板 市や子育て支援団体等が運営するSNSやブログの最新記事をまとめた掲示板
- パパママカレンダー 市や子育て支援団体等が実施するイベントや口座などの案内
- パパママまっぷ 市内の子育てお役立ちスポットをまとめた地図
- とよはしパパママレポーターブログ
パパママ目線で地元のお役立ち情報をチェック



* 視察先の写真等がある場合は添付のこと

感想(まとめ)・市政に活かせること

令和4年、全国の出生数は80万人を下回り、少子化が進んでいる。
上田市においても、数年前に1,000人を切り950人となっていて、今後さらに少子化が進んでいくことが大変危惧されているところです。

豊橋市では「共働き子育てしやすい街ランキング2022」で全国第3位となっています。数年前までは、全国で上位にはランクしていたものの、現状には満足せず、子育てしやすい地域を目指して様々な取り組みをしてきたそうです。

「豊橋市子育て応援企業」として子育て支援の取り組みを積極的に進めている企業を認定・表彰する取り組みは、地域や企業などと子育てを一緒に進めていく活動としてとても興味深い活動であり、上田市としても研究をしていくひとつの取り組みであるかと思えます。

また、認定こども園、保育園は、ほとんどが民間であり上田市とは運営母体としての違いはあります。もともと、民間運営の園が多い地域でもあり、公立を民間に移行していたこともなく、官民連携して保育事業を進めています。

豊橋市は、保育料の無償化や、給食費の無償化など段階的に進めていて、目標としては18歳までの子育て支援の充実の為に一つ一つ進めているとのことでした。

ポータルサイトにおいて使いやすさを求めるために、育休中の職員の意見を取り入れたり、市民の意見も参考にされているとのことでした。

上田市においても、子育ての理想形を作り上げ、それに向けて出来ることからすぐにでも進めていき、子育てしやすい地域を早く作り上げていかなければならないと強く感じました。

